

No.002	2025 年度「次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト」	
機関名	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	
募集締切 (公募機関)	2025年4月28日(月) 正午アップロード完了	
学内締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2025年4月14日(月)
	原議書提出締切日	2025年4月21日(月)
応募方法	WEB入力フォームによる提出及びe-R a dによる提出 ※本公募は事務局において事前了解の手続きを行いますが、Web入力フォームへの提出及びe-R a dへの応募情報の入力には各申請者が行ってください。	
所属研究機関の承認(e-Rad)	不要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	必要	
概 要	【概要】 次世代空モビリティ（ドローン・空飛ぶクルマ）はヒト・モノの新しい移動手段として、また、物流分野やインフラ点検分野などを効率化する手段として注目され、機体開発や運航管理技術などの研究開発や実証実験、法整備などのルール作りが進んでおり、今後の市場拡大が期待されています。 次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト（ReAMoプロジェクト）では、【1】次世代空モビリティの安全性向上・高性能化のための、機体性能を適切に評価する性能評価手法の開発、【2】操縦者が1人で複数のドローンを安全に運航する「1対多運航」を実現するための要素技術と当該技術に対する性能評価手法の開発、【3】低高度空域を飛行するドローンや空飛ぶクルマと既存航空機がより安全で効率的な飛行を行うために必要となる運航管理技術の開発など、次世代空モビリティの実現に必要な技術開発を実施しています。 本追加公募では、【2】操縦者が1人で複数のドローンを安全に運航する「1対多運航」を実現するための要素技術と当該技術に対する性能評価手法の開発を行います。具体的な研究開発項目は以下の通りです。 研究開発項目〔1〕「性能評価手法の開発」 （3）ドローンの1対多運航を実現する適合性証明手法の開発（委託） （4）ドローンの1対多運航を実現する機体・システムの要素技術開発（助成）	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。